

調和体を書く(4)

締切り 四月二十四日(必着)

教師に一番
大切なものは生徒への
愛情である
奥村憲照

奥村憲照先生書

回作品の出し方

- ▼硬筆部 B5判(二五七mm×一八二mm)以下の紙に書いて下さい。用具は自由です。(黒色に限る)
- ▼毛筆部 B5判に書いて下さい。(筆ペン可)
- ▼出品制限の対象とはしませんが、出品は硬毛のどちらか一方に限ります。
- ▼事務処理上、支部略称・氏名・会員番号・硬筆規定の成績(毛筆の場合は毛筆漢字の成績)を、作品余白にお書き下さい。
- ▼優秀作品は、写真版として成績表の後ろに掲載しますが、成績表での順位発表はしません。

◆書道のジャンルには、大別して「漢字」「かな」「漢字かな交じり書」の三つがあります。

◆現代日本の文章表現は全て漢字かな交じり書ですが、ここでは芸術的創作作品を指し、「調和体」「近代詩文」として書道展の一部門を占めています。

◆読める書として近年人気を高めていますが、古典といわれるものがない故に書法はまだ確立しておらず、各団体で新和様・新書芸などのいろいろな呼称で研究が進められています。

◆今回のお手本は、前会長奥村憲照先生が(財)日本書道教育学会に関係していた頃の^{しんわよう}新和様のお手本です。本誌初登場です。

◆読めどかつ、書格の高い作品を目指して研究してまいりましょう。

〔読み〕

教師に一番大切なものは
生徒への愛情である

〔解説〕

①可読性を大切に。

②変体仮名・連綿はなるべく控える。

③構成を工夫してみよう。

※「憲照書」はご自分の名をお書き下さい。

一般部規定課題

締切り 4月24日(必着)

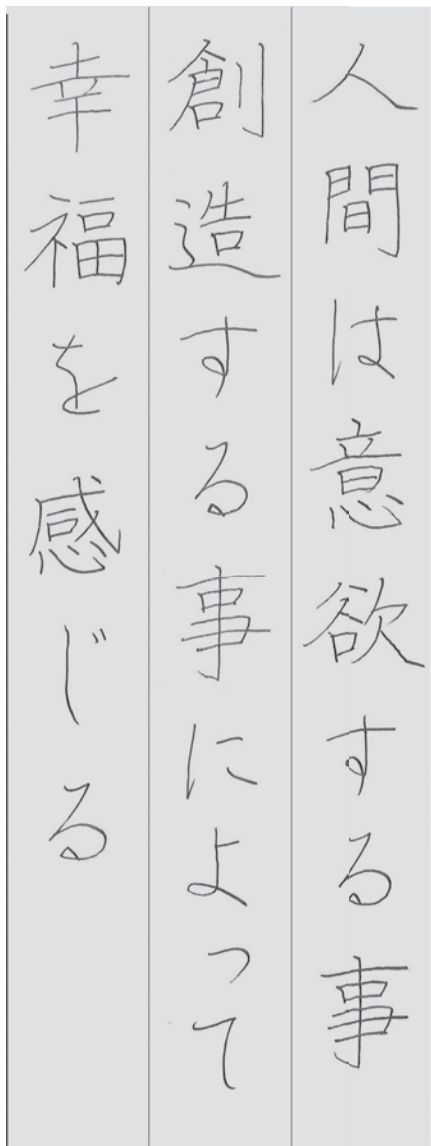
準初段から六段まで

新入から1級まで

〔解説〕



◎教範・書範は右課題を「行草または草書」で、師範は「行書」で出書して下さい。
 ◎今月は楷書。楷書を学ぶ上で最も大切なことは、明快な線と一点一画をていねいに運ペンすることです。

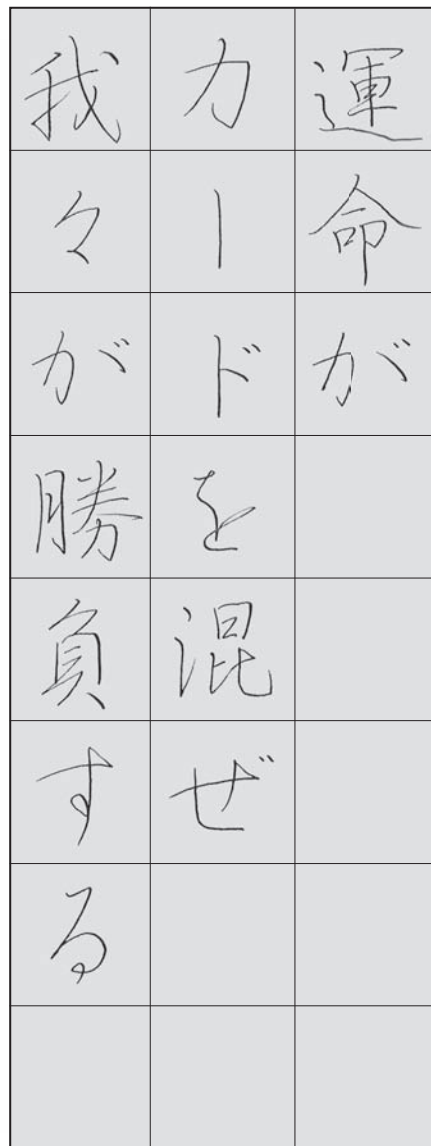
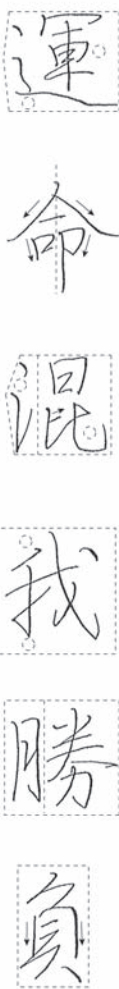


おか だ りゅう ほう 書
 岡 田 龍 芳 書

▷用具＝自由（黒色に限る）

▷用紙＝本会段位用紙

〔解説〕



おお たに せい じょう 書
 大 谷 清 城 書

▷用具＝自由（黒色に限る）

▷用紙＝本会級位用紙

- ◆5月課題予告（行草または草書）
 自分自身の
 身体と精神に対して
 誰もが支配者だ
- ▼教範・書範Ⅱ行書
- ▼師範Ⅱ楷書

★人間は…（書体Ⅱ楷書）
 アラン（二六八～五五）
 フランスの人生哲学者
 人間はどんな時に幸福を感じるか、
 何をもって幸福というかは、おそらく
 個人により違うと考えられます。自分
 は今、充実して生きているという実感
 が先ず初めにあり、何かを新しく創り
 出した時に非常に喜びを感じることが
 できるでしょう。

◆5月課題予告（楷書）
 鎖の強さは
 いちばん弱い
 環で決まる

★運命が…（書体Ⅱ行書）
 ショーペンハウアー（二六八～一八六〇）
 ドイツの哲学者
 運命に頼るのではなく、自分で勝負
 するのも大切です。勿論、運と縁もあ
 るかもしれませんが、自分の力を高め
 ることが成功への単純な近道かもしれ
 ません。
 与えられた運命をよく生かすことは
 人間にとって大切なことでしょう。

締切り 4月24日(必着)

準初段から六段まで

新入から1級まで

菜農の花耶や淀よ登も桂可都らも忘裳れ水王春連

菜の花與と淀も桂可川ら毛わ寸禮三徒も忘れ水

■両課題とも、文字の変換・配字は自由です。

た なか き こう
田 中 貴 光 書

▷用具=自由（黒色に限る）

▷用紙＝本会段位用紙

た なか き こう
田 中 貴 光 書

▷用具=自由（黒色に限る）

▷用紙＝本会級位用紙

菜の花や淀も桂も忘れ水

（池西言水）

〔句解〕東山の高台からほるか西南の方角をながめると、見渡すかぎりの菜の花盛りである。いつもはほの白く輝いて見える淀川も桂川も、その菜の花に埋もれてしまつて見えず、まるで忘れ水のような風情がある。

〔鑑賞〕作者の自注に「忘れ水とは、深草が下にゆく流れなり。右の二河、常に清白に見ゆ。葉の花長く覆ひては、其の様忘れ水たり」とあり、淀川や桂川を忘れ水に見立てたのが一句の眼目である。

〔古筆参考〕

徒 ^つ	連 ^れ	川 ^つ (州)	耶 ^や	農 ^の
𠂔	𠂔	川	𠂔	𠂔
𠂔	𠂔	川	𠂔	𠂔
𠂔	𠂔	𠂔	𠂔	𠂔
𠂔	𠂔	𠂔	𠂔	𠂔

〔解説〕 連綿する際、「よ」から次の

字に続ける時は「よ」の最後を右下へ落として書くのではなく、右上に一旦あげてから次の字へ続けて書くとうい。

◆5月課題予告

おほはら
大原や蝶の出て舞ふ朧月
てふ
おほろづき

ないとうじょうそう
(内藤丈草)

締切り 4月24日(必着)

町内の交通安全週間に、通学路で子供たちの登校を見守りました。ひよこひよこ歩くチビッコ軍団のランドセル姿の何て愛らしい事。「おはよう」の声かけに元気いっぱい返してくれて、毎日が爽快です。

町内の交通安全週間に、通学路で子供たちの登校を見守りました。ひよこひよこ歩くチビッコ軍団のランドセル姿の何て愛らしい事。「おはよう」の声かけに元気いっぱい返してくれて、毎日が爽快です。

◎手本は水性ボールペン使用

作品の出し方

- 新入から師範まで、どなたでも出書できます。成績は評価により毎月変わります。
- 用紙Ⅱはがき課題ははがき用紙、横書き課題は一般部段位用紙を横に使用。
- 用具Ⅱはがき、横書き課題ともに自由。(黒色に限る)
- 両課題とも、書体変換は自由です。

横 書 き 課 題

1909年、アメリカのピアリーは北極点到達への希望を達成した。

三重県志摩市 氏 名

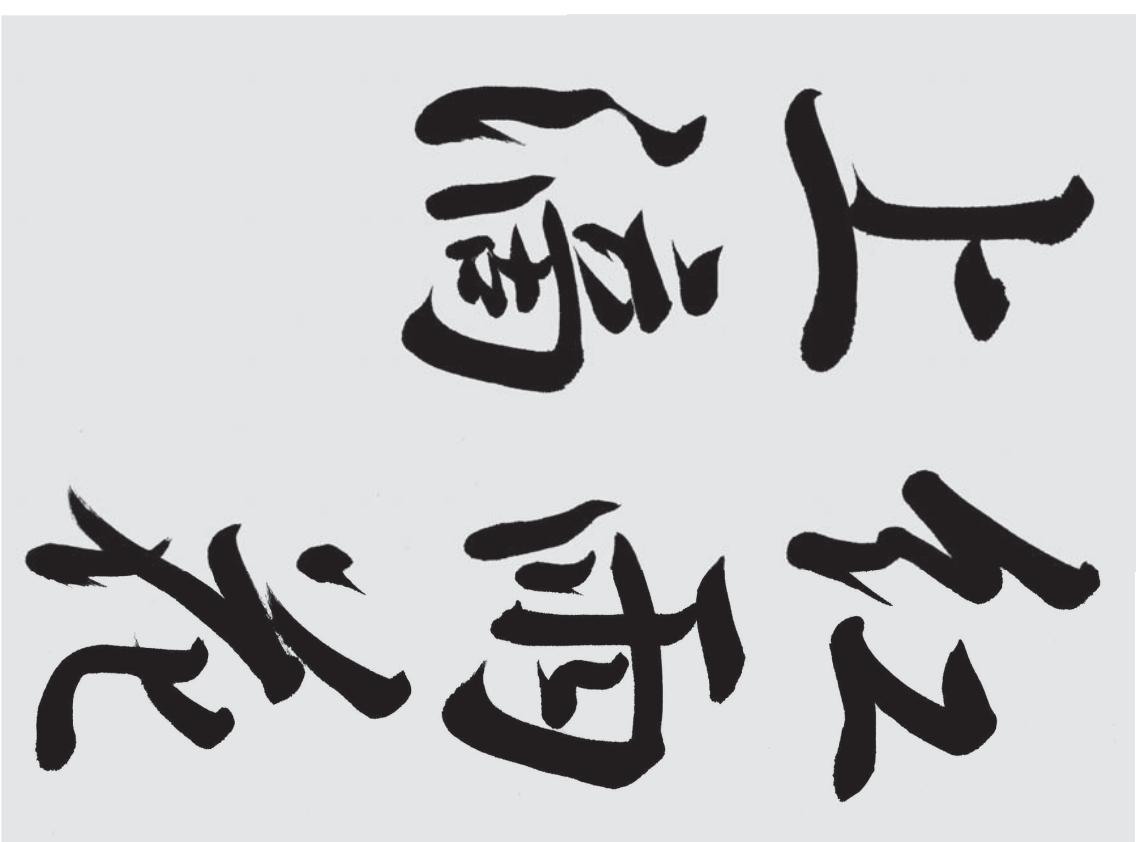
※手本はつけペン使用。 ★三行目は、指定の地名と氏名を書いて下さい。

題課字漢筆毛部一般——

締切り 4月24日(必着)



【出典】孔子廟堂碑（626～633） 【筆者】虞世南（558～638）
 【読み】被る（所） 犁興睦納し、空（山尽漠、
 ころむ さみじみはく



〔読み〕 紅雨こうう花か上じょうにに滴せせぐ
〔大意〕 やわらかな雨が花にそそいでいる。
※紅雨＝花に降る雨

被

稗

眞

晷

納

॥३॥

準初段から師範まで

奥村暢之 臨

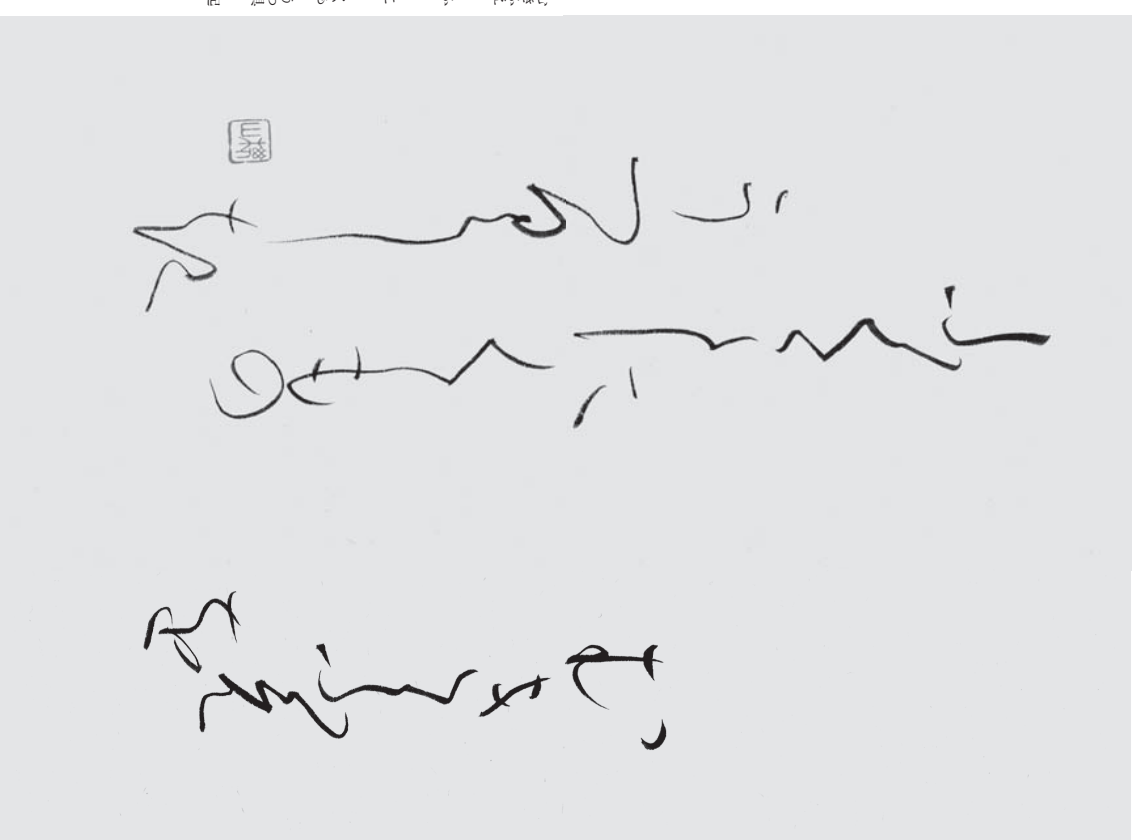
新人から1級まで（行事）

須田 葉書
す だ いち へいしょ

一般部毛筆かな課題

締切り 4月24日(必着)

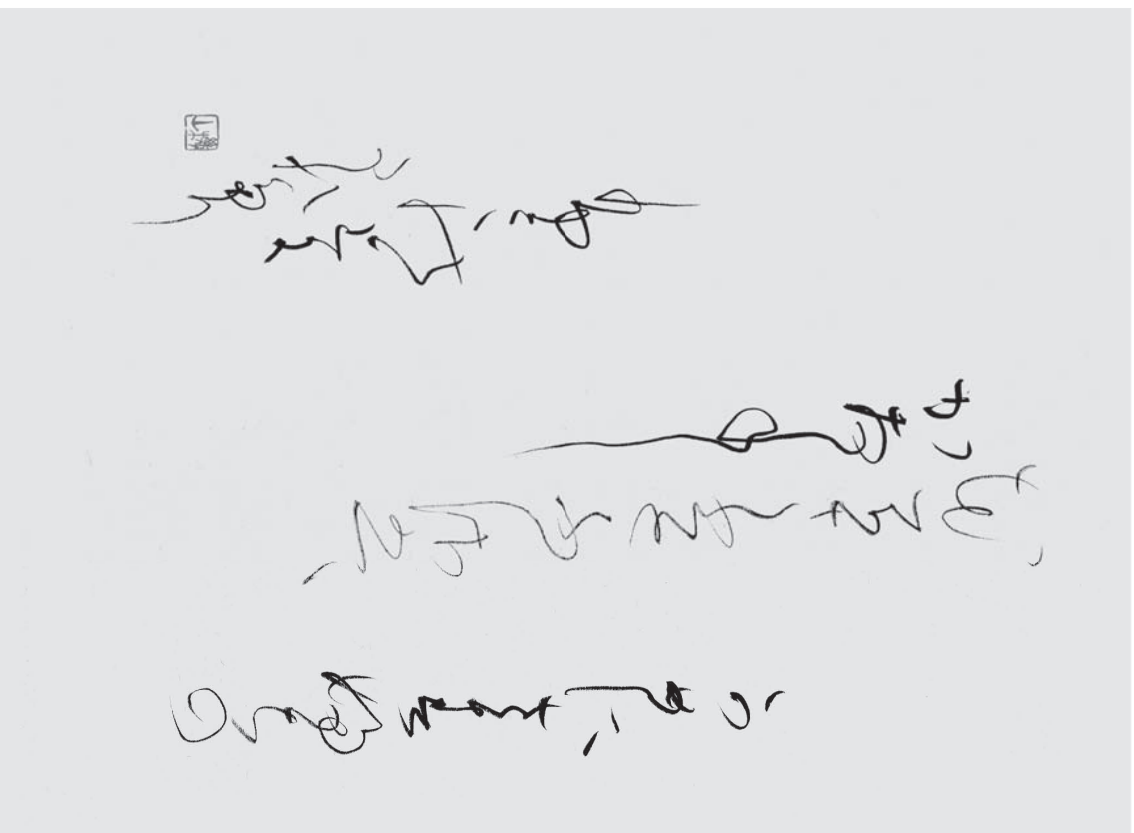
新入から1級まで



浅井 機山先生書

準初段から師範まで

■両課題とも文字の変換、ちらし方は自由です。



可^め瓶にさす藤の花ぶさ一ふさは
春^つ不^ふ悲^{かな}と佐^さ盤^{ばん}
敗^{たい}年^{ねん}布^ふ能^{のう}多^た爾^に垂^たれたり
かさねし書の上に

〔出典〕 正岡子規

〔歌意〕 仰向けに寝ながら見る机の上の花瓶の藤の花はゆったりと垂れ、

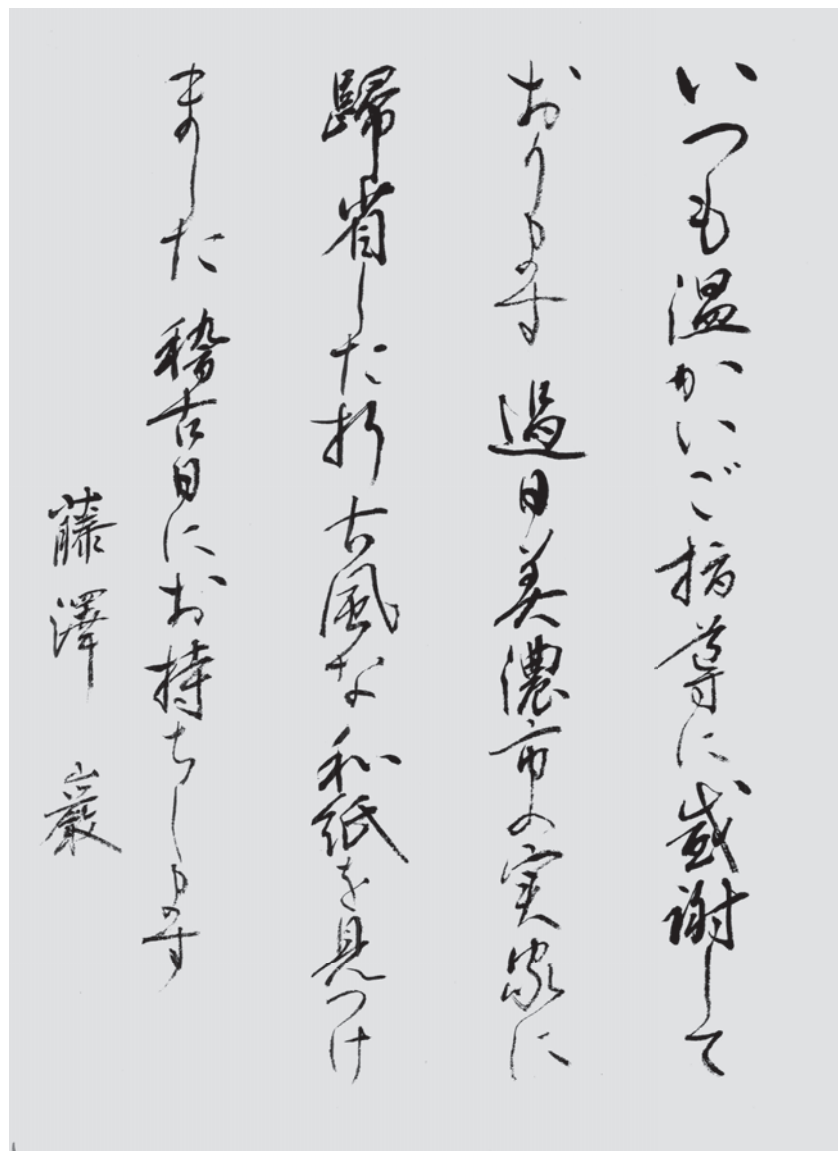
その房は短いので、畳の上に届きそうで届かない。

〔出典〕 原石鼎

〔句意〕 初夏の夕暮れの夕焼け雲は美しい。少年は草笛を吹いている。

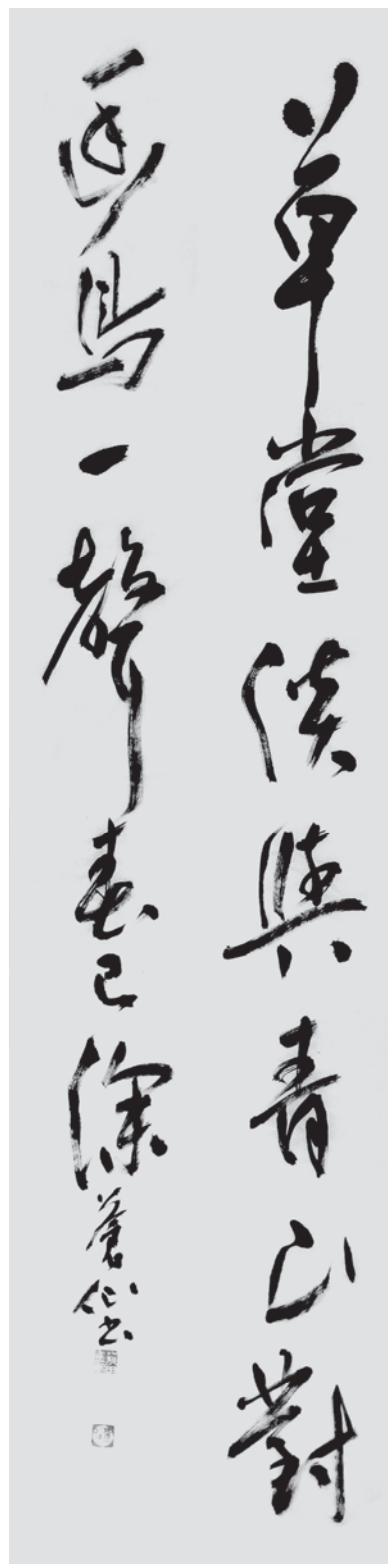
一般部毛筆細字課題

一般部毛筆条幅課題



半紙 (334mm × 240mm)

槐 田 玲 華 書



締切り 四月二十四日 (必着) 半切 (一二六cm × 三五cm)

萩 田 蒼 仙 書

- 新入から師範まで、どなたでも出書できます。
- 成績 (天位・5等) は、評価により毎月かわります。
- 書体変換、変体仮名の交換は自由です。

〔条幅・細字作品の出し方〕

・印で墨つぎしました。

(ご自分の氏名)

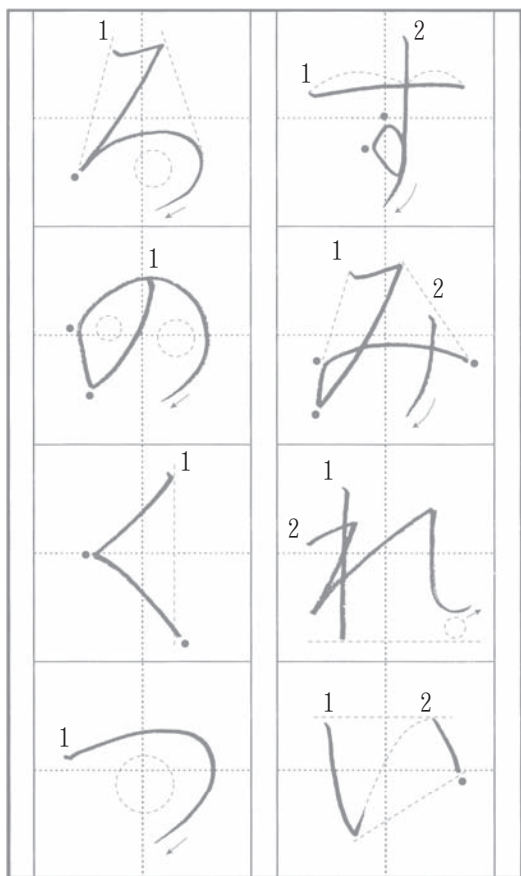
いつも温かいご指導に感謝しております。過日美濃市の実家に帰省した折古風な和紙を見つけました。稽古日にお持ちします。

〔条幅解説〕 古典を学ぶ…品格を求めて。古典古筆をそっくり利用…そんな簡単なものではない。現代に、そしてその作品に適合するための活用術は難しい事です。師、先輩からしっかりと学びましょう。

〔大意〕 山林の家々も樹木の影響を受け淡く光り、幽鳥の声も初夏の訪れを告げる。
初出品の方へ
支部名・会員番号・姓名・毛筆漢字成績を、作品左下に必ずお書き下さい。

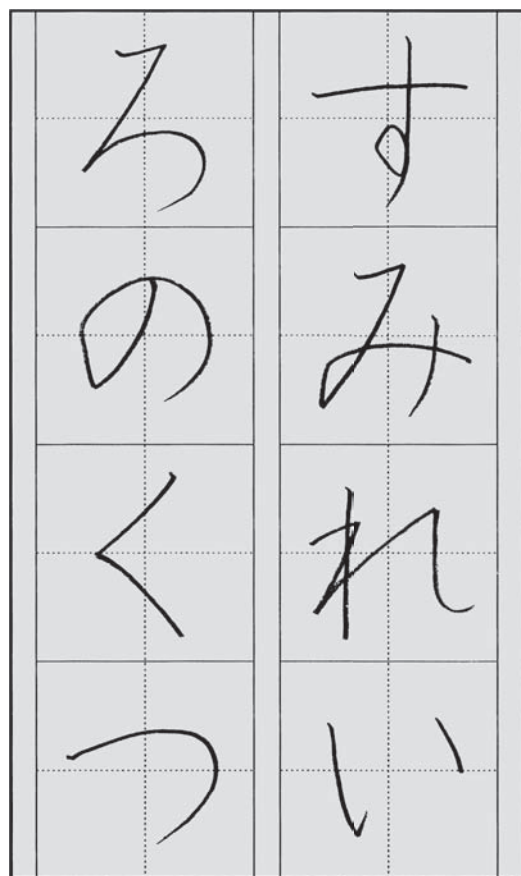
草堂淡與青山対
幽鳥一聲春己深

〈ようぐ〉自由(黒色にかぎる)



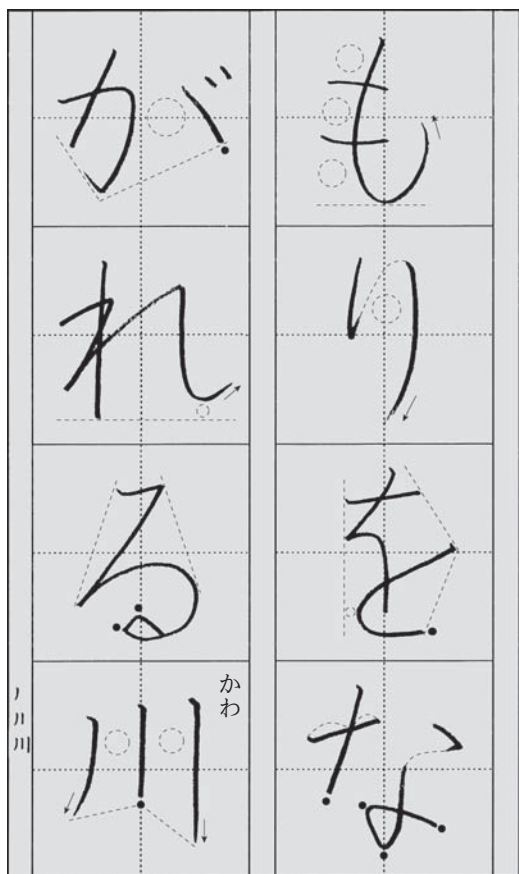
◆ひらがなトレーニング(なぞってかいてみよう)

★新入は、年少・年中・年長の別を記入して下さい。
★幼年は、全員8マス用紙で出書して下さい。



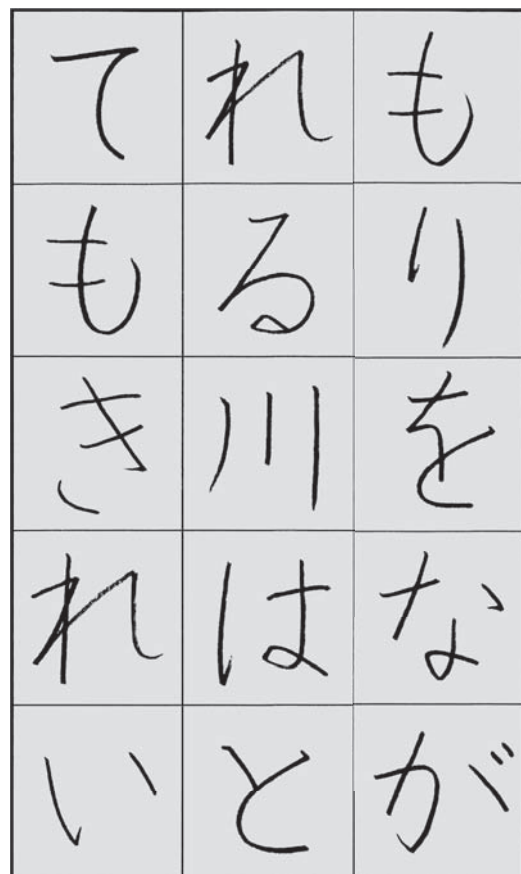
よ
う
年

幼年〜小三年まで
三宅容玉書



新入〜1級

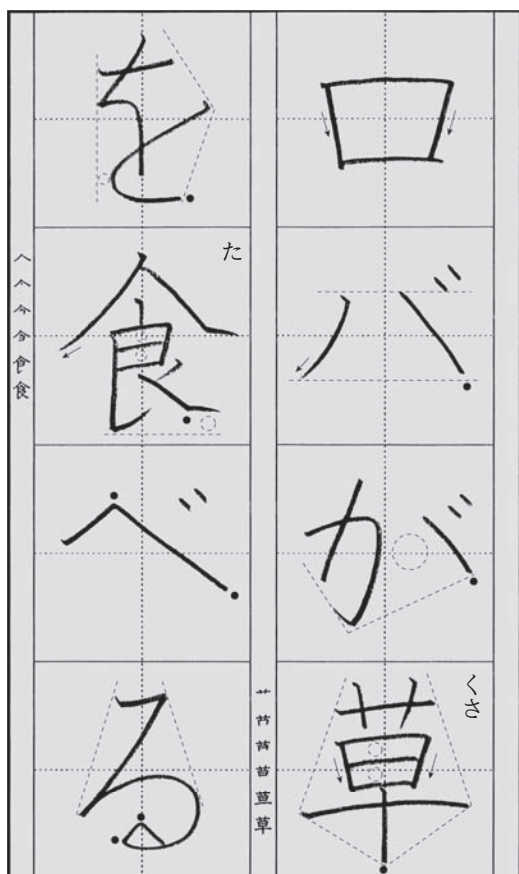
(注) えんぴつ書きでは、消しゴムを使ってはいけません。



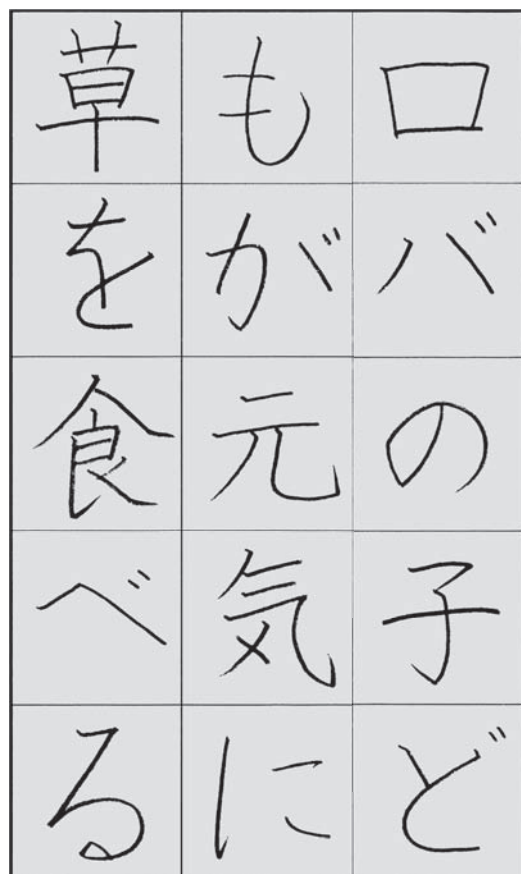
新
小
一
年

準初段以上

〈ようぐ〉自由(黒色にかぎる)



新入1級

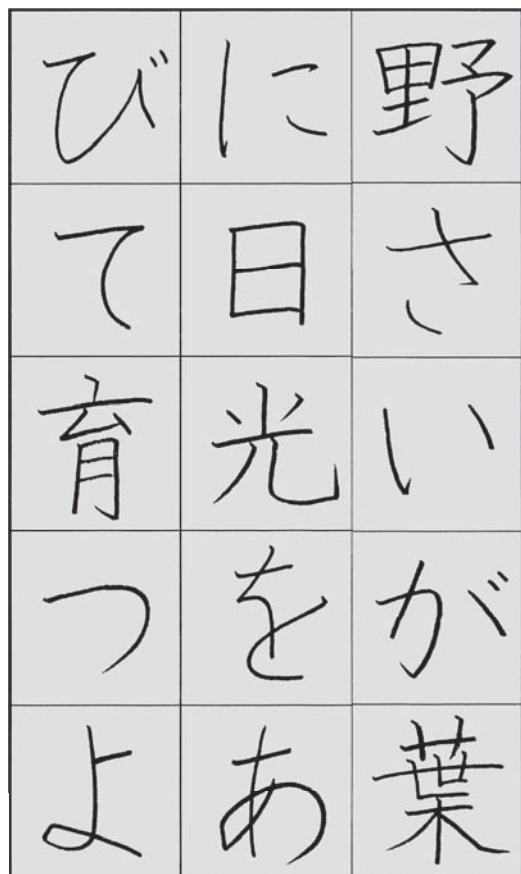


新小二年

準初段以上



新入1級



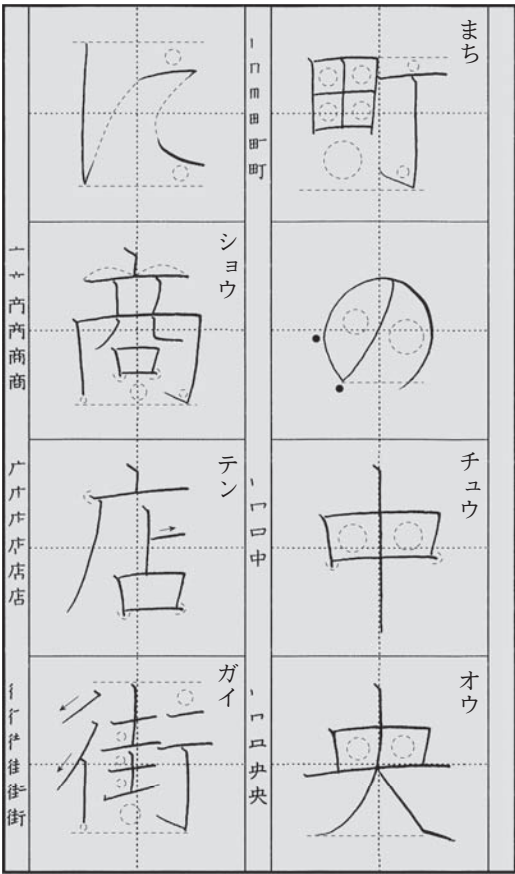
新小三年

準初段以上

(注) えんぴつ書きでは、消しゴムを使ってはいけません。

新小四年

(全員)



新四年生は、左記により、全員この手本どおり8マス用紙で出書してください。

記

- *用具は自由ですがデスクペン、つけペンで書く人は、硬^{かた}くならず、のびやかに書く習慣をつけることが第一目的です。
- *六月締切り分までは、この方法が続けます。
- *ペン書きの人は早く慣れるよう、たくさん練習しましょう。
- *七月締切り分からは、準初段以上は従来どおり15マス用紙を使用してください。

〈用具〉自由(黒色に限る)

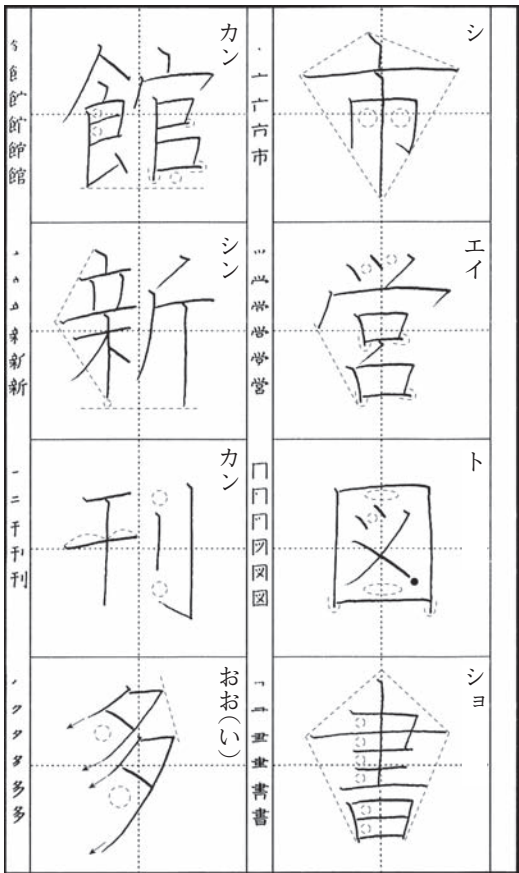
新小五年

(全員)



小五以上は、全員15マス用紙で出書して下さい。

解説(よく見て習いましょう)



小四年以上
岡^{おか}嶋^{じま}桂^{けい}川^{せん}書

〈用具〉自由(黒色に限る)

三才典義奏奏	奏	ソウ	キョ	許
ノハハハ会会	会	カイ	カ	可
ハハハ張張	張	ハ(る)	ト(る)	取
			エン	演

解説(よく見て習いましょう)

新小六年

ス	演	許
タ	奏	可
一	会	を
張	の	取
る	ポ	り

(全員)

◎お手本はつけペン使用

渡	で	永
航	英	住
し	国	を
た	へ	覚
兄	と	悟

新中二・三年

(行書)

新中一年

(行書)

ン	い	零
千	創	困
の	作	気
お	フ	も
店	レ	良



こどぎのひろば



幼年

い	た	ぴ	み
ぬ	て	ん	み
	た	と	を

新小三年

カ	大	南	雪
ラ	か	き	上
フ	つ	よ	車
ト	や	く	を
犬	く	で	引
	の	も	き

新小六年

祖	散	公	犬
父	歩	園	と
の	す	ま	い
日	る	で	っ
課	の		し
で	が		よ
す			に

新小一年

い	う	し	ふ
ぬ	れ	っ	る
は	し	ぽ	よ
	い	を	
	と		

新小四年

ご	も	代	感
主	う	わ	心
人	ど	り	し
の	う	を	ま
目	犬	す	し
の	に	る	た

新中一年 (楷書)

コ	小	れ	一
リ	屋	出	日
ー	か	し	中
は	ら	て	番
朝	羊	野	を
早	を	原	す
く	連	で	る

新小二年

犬	手	ス	や
の	ぬ	プ	く
した	ぐ	ー	も
は	いの	ン	す
		や	る

新小五年

犬	多	人	立
は	く	間	っ
む	の	に	て
かし	面	愛	来
から	で	さ	た
	役	れ	
	に		

新中二・三年 (行書)

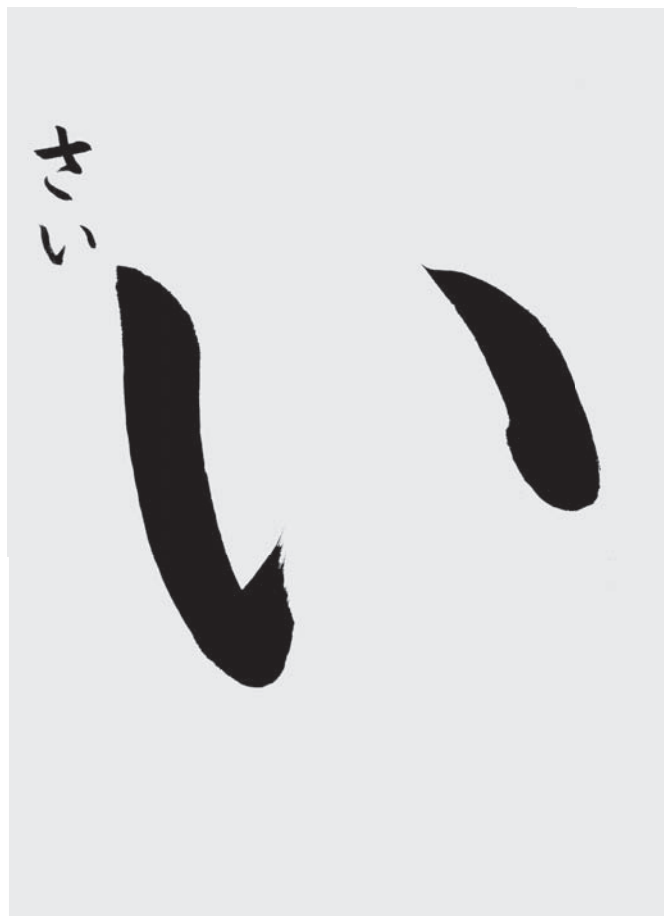
ビ	内	生	必
タ	で	野	要
ミ	作	菜	は
ン	ら	を	な
を	る	食	い
を	犬	べ	
体	は	る	

▼今月は、席書大会開催に合わせて特別に席書課題をひろばの課題とします。本番に向けてサインペンで練習してみましよう。

▼4行用紙のない場合は、いつも通り5行用紙に書いても構いません。体裁よく収めてください。用具も自由です。

幼年／新小二年

玉たま
樹き
小しょう
華か
書





新小三〜新小五年

水野香竹書

中二・三

覚悟

小六

許可

新小六〜新中二・三年

奥村暢之書

作

許

覚

可

悟

創

中一

創作

※行書は線の連なりを大切に！